



# 学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

令和6年3月4日

<3月号>



ホームページ  
QRコード

## 改革の年

校長 後藤 修治

校庭のチューリップの芽も出始め、桜のつぼみもピンクに色づき始めました。3月に入り、冬に逆戻りしたような寒い日が続いていますが、着実に春は近づいてきています。

さて、先日の6年生を送る会には、多くの保護者、ご家族の皆様からお越しいただきましてありがとうございました。また、その後のPTA総会、学級懇談会と引き続きご参加いただきましてありがとうございました。

今年の6年生を送る会は、例年行っている下学年の発表（出し物）から、6年生と下学年による対戦型ゲームへと方法が大きく変わりました。これは、会を計画、運営する5年生が、これまでの方法にとられず、よりよい会にするために時間をかけて話し合い、考えてくれた方法です。参加型、対戦型の6年生を送る会はいかがだったでしょうか？「発表の方がよかったな。」と思われた方もおられたかもしれません。方法や内容を大きく変えることは、勇気がいることであり、時間や労力もかかります。しかし、あえて新しい方法にチャレンジした子どもたちに拍手を送りたいと考えています。そのアイデアを尊重したいと思います。参加型、対戦型の6年生を送る会は、とても楽しい会でした。それだけでなく、6年生への感謝の気持ちがよく伝わる飾り、プレゼント、招待状などを下学年が用意し、そして、その気持ちに応える6年生のメッセージも下学年に伝わり、見ている大人の心にも感動を与えました。



【下学年からのプレゼント】

さて、PTA活動も、来年度改革の年を迎えます。家庭数の減少に伴う役員数の見直し、専門部の数や活動の見直しがPTA総会で承認されました。これまでの伝統を大切に引き継ぎながらも、持続可能なPTA活動となるよう改善も必要です。

また、PTA総会でもご説明したとおり、学校の教育活動も再来年度の学級減を見越し、2学年合同でできる学習は、合同で行っていきます。現在、体育、音楽は2学年合同で行っていますが、それに加え、来年度から総合的な学習（ふるさと学）も3・4年合同、5・6年合同で行っていきます。

「現状維持は後退と同じ」という言葉があります。両津吉井小学校の伝統、特色などを大事にしながら、実態に合わせ柔軟に変えていくことも、今、求められています。